

## 北広島町観光振興まちづくり計画 第1回策定委員会の主な意見

課題	意見
全体的な内容・体制	<p>■ 観光計画では、行政と民間ができることを明確に分ける必要がある。気持ちや心の満足度だけでは事業として成りたさない。両立させるためには行政は満足度を追求し、民間や観光協会は事業として成りたさせる、その両方が同時に進むことが大事。</p> <p>■ 課題はやはり、人材・資金不足が大きい。観光資源の掘り起こしとよくいわれるが、掘り起こすだけではなく、持続性を図る仕組みが必要。</p> <p>■ 商工会では、町外から北広島町に移住して事業を立ち上げたいという動きを手伝っている。いろいろな情報発信ができる人、地域を担う人が出てくると非常に良いと思う。</p>
住民意識・観光産業の意識	<p>■ 観光振興・地域づくりに関して、観光事業者だけが儲かるのではないかと同時に、十分に理解されていない部分がある。</p> <p>■ 地元として外国人観光客にたくさん来てほしいと思っているのか疑問。どうしても、外国人に対して、近寄りたいたいというか、臆する面がある。</p> <p>■ 観光施設のマンネリ化が進んでおり、増やそうという努力がみられない。そこに新しい風をどう入れていくかが課題だ。</p>
ターゲット	<p>■ 近畿地方や首都圏から来てもらおうという発想があって良い。スキー場、夜の神楽、どぶろくやそばも楽しめて温泉もある。特に秀でたものがないのが課題だというのが、逆に、広く浅くいろいろあるのであれば、長期滞在型の観光もひとつの形として考えられる。</p> <p>■ スポーツのトップチームの合宿等を誘致できれば、中高生の合宿誘致にもつながり、自然と人が集まるようになってくる。トップチームがくることでスポーツツーリズムが動いていく。</p>
インバウンド対応	<p>■ 韓国へ営業に行っており、トレッキングを目的に北広島町に来てくれている。アンケート評価は高く、本物の体験ができる地域として受け止められている。今後、香港、台湾からも来てもらえる地域であり、官民で宣伝活動をしたい。</p> <p>■ 台湾や香港の雪を見たことがない人は、雪を見るために、雪遊びをするために来ることもある。温泉と雪の組み合わせは喜ばれる。</p> <p>■ 団体バスで訪れる40人程度のツアーを町で受け入れるのは、一度に体験や食事ができる場所がなく難しい。そうなると、欧米の個人旅行者を受け入れるほうが向いている。欧米からの旅行者は地元の人も嫌ではなさそう。</p> <p>■ 欧米の旅行者は滞在日数が長いので、2～3泊の滞在者を対象とした形も考えられる。県内客は日帰りになりやすいのであれば、思いきって遠くから呼ぶ。それだけの観光資源が十分に揃っている。もう少し広い目で見ると面白い。</p>

<p>神楽</p>	<p>■ 伝承館の神楽の展示はとても良かった。しかし、町民にはあまり知られていない。その場で説明をしてくれるガイドさんがいればさらに良い。</p> <p>■ 北広島町では昨年度、神楽振興計画を策定し、神楽を活かしたまちづくりを進める指針が出ている。</p> <p>■ 3年前から広島市内の広島県民文化センターで毎週水曜日に神楽の定期公演を始めた。神楽ファンの拡大が狙いであり、初めて神楽を観て神楽のファンになってもらい、いずれは神楽の本場である中山間地域の市町に来てほしいという願いがある。少しずつ神楽ファンを増やしていこうとしている。</p>
<p>拠点施設</p>	<p>■ 千代田には道の駅、豊平はどんぐり村、芸北にはオークガーデンがあるが、大朝には拠点がなく、観光入込客数をみると他の4地域に比べて大朝が最も低い。観光への意識も低く、実際に大朝にお金落ちるといった感覚が薄い。資源はあるが、そこがうまく繋ぎ合わされていない。浜田道や中国道沿線からの既存のアクセスがうまく機能していないように思う。</p> <p>■ 舞ロードIC千代田の駐車場は、バス利用者も含め常に40台くらいの駐車があり、駐車場が慢性的に不足している。土日はもちろん、平日でも満車で車をとめられないこともあり、芝生を駐車場として開放している。今後は駐車場を増やすための工夫が求められる。</p>
<p>自然資源の活用</p>	<p>■ 自然の木をもう少しアピールしてはどうか。国の天然記念物テングシデなど、せっかく変わった木があり、多少の客足はあるが、活かしきれていない。</p>
<p>案内機能</p>	<p>■ サイン計画は、モデル地域を決めてから取り組んでいこうとしている。徐々に整備を進めているが、どうしても時間がかかってしまう。</p> <p>■ 住民への案内よりは観光客への案内を充実させたい。</p>
<p>特産品</p>	<p>■ 「まぼろしのワイン」があまり知られていない。まだ数量限定であるのに加え、加工場が町内にない。大朝で加工して醸造できればと思う。</p> <p>■ 大朝の朝光という、もともとあった酒造のお孫さんが、再建に向けてぶどう作りから始めてようとしている。それが再建できればツーリズムにつながる。</p> <p>■ 大朝の昔からの商店街の空き家を少しずつ店舗に変えながら、商店街にも人が集まるような仕組みを作りたい。また、おみやげがないので、自ら作る必要があると思っている。その為の加工場などを現在提案をしているところ。</p> <p>■ どぶろくを造って販売している。対面で説明しながら買っていており、評価されている。</p> <p>■ 芸北は特に特産品が少ない。お土産が充実しているところは観光でも活気があると思う。特産品・お土産を強化できれば、もっと観光客が増えるのではないかと感じている。</p>
<p>交通アクセス</p>	<p>■ 八幡湿原に広島バスセンターから公共交通機関で行って日帰りで散策して帰ることは難しい。免許の持たない大学生や高齢の女性グループなどに対し、</p>

	<p>広い北広島だけれど、こういう移動方法がありますよという提案が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ デマンドタクシーは、地元住民が通院する際などは活用している。例えばうまく乗り継げば芸北スキー場に行くこともできるが、宣伝まではできていない。</li> <li>■ 観光と交通は密接しているのでうまくリンクさせる必要がある。</li> <li>■ 大朝 IC のバス停があり、1 時間に 1 本バスが着くが、そこからのアクセスがないため、レンタル自転車を作ろうとしている。大朝は平地で面積も狭いので、自転車があれば、行き来が出来る。</li> </ul>
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お金を落としてもらうために宿泊してもらわなければならない。町内には多くのスポーツ施設があるにも関わらず、活かされていなくて、スポーツコミッションとして大型施設を束ねる仕組みを作るべく教育委員会と動き始めている。</li> <li>■ 津和野では昔はみんな泊まっていたが、今は泊まらなくなった。しかし、この 1~2 年で外国人が増え、泊まり始めているようだ。</li> <li>■ 宿泊は急には増えないので、既存の民宿を活用していく必要がある。外国人観光客に農家民宿に泊まってもらおうと思っており、予約サイト Booking.com に載せて様子を見ようと思っている。</li> <li>■ 旅行者はまず宿泊先から探すことが多い。宿がなければそこには行かないので、魅力的な宿があれば来る人も増えるだろう。</li> <li>■ 大きな施設を作って多くの宿泊者をとるとするのは無理。稼働率を考えると施設を増やすのも難しい。今ある民宿をうまく活用していくと全体の宿泊数も増やせる。スポーツ大会の規模の大きいものだと必ず宿泊が足らなくなる。</li> </ul>
スキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スキー人口がピークの約 3 分の 1 であり、今後どうやって盛り上げていくかが課題。北広島町の冬の主な産業であるスキー場を活性化させるため、地域住民の声も参考にしながら取り組んでいる。</li> </ul>
温泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 町内にある 7 つの温泉施設を安い料金で利用できる「湯めぐり手形」を作り、各施設及び道の駅などで販売していただいている。</li> <li>■ 北広島町に来られた方の中で、温泉巡りがしたいという方が多い。北広島町に温泉があるということをより PR できれば、もっと観光客を増やせるのではないかと感じている。</li> <li>■ 温泉の課題としては、どの施設も老朽化がかなり激しいこと。各施設の修繕の資金繰りも難しく、メインの部分しか直せていないのが現状。</li> </ul>
他地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 八幡高原では、安芸太田の三段峡との活動が最近増えてきている。その動きも、ここで反映できればと思っている。</li> </ul>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 町内でもあまりにもイベントが多すぎる。費用対効果を調査し、ある程度まとめて実施しないと、効果が薄くなる。</li> <li>■ 観光客が動くタイミングは春と秋であり、その時期にわざわざイベントをする必要は無いと考え、今年から春と秋のイベントを思いきってやめた。</li> </ul>

